



「春めき電車」桜色

—— 大雄山線で運行

伊豆箱根鉄道は4日、小田原市と南足柄市を結ぶ大雄山線で、南足柄市生まれの桜「春めき」をイメージしたピンク色の「春めき電車」の運行を始めた。写真。

大雄山線が10月に開業100周年を迎える記念事業の一つ。これまで、テングの寺として名高い大雄山最乗寺にちなんだ朱色の「天狗電車」、小田原市のかんきつ類に由来する「オレンジトレイン」などを走らせ、今回で同線の7編成はすべて異なる色の電車になった。春めきは、南足柄市の古屋富雄さん(72)が見つけて品種登録し、ソメイヨシノより一足早く咲くピンク色の濃い桜として人気が高い。

春めき電車は、小田原―大雄山駅間を1日11〜15往復する。